

リスクマネジメント

リスクの評価

社内外の経営環境の変化からリスクとなりうることを「各リスクの経営への影響の大きさ」と、「マネジメントコントロール度」の2軸で評価し、対応すべきリスクを選定しています。社内・社外両面からモニタリングを行い、状況変化に応じたリスクの重要性を適時評価し、機敏にリスクに向き合うように努めています。

全社主要リスク

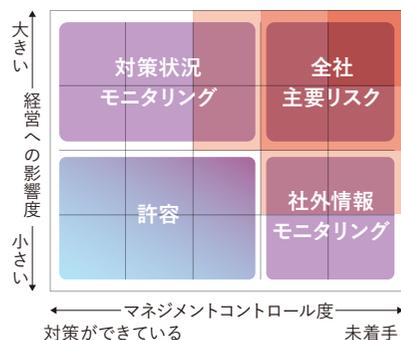
経営への影響度が大きいにもかかわらずマネジメントコントロールが不十分なリスクは、全社横断的なプロジェクトにより、最優先でリスク低減に努めています。

対策状況モニタリング

活動を通じて対策が効果を上げマネジメントコントロール度が高まったとしても経営への影響度が大きい場合は、その後の対策状況を監査などにより確認しています。

社外情報モニタリング

その時点では経営への影響度が小さく経営課題とならないリスクにおいても、対策ができていないリスクは感度高く社外情報の収集、モニタリングに努めています。



リスクマネジメント体制

当社グループでは、経営の継続的、安定的発展に影響しかねない事象をリスクと認識し、リスクマネジメントの実践を通じ、内部統制システムの充実に取り組んでいます。個々のリスクを各担当部門が継続的に監視するとともに、全社的なリスクはリスクマネジメント委員会[※]で情報を共有し、そのリスクを評価、優先順位および対応策の効果などを総括的に管理しています。特に下記の8つを主要なリスクに位置づけて抑制・回避に努めています。



これら全社的なリスクの評価や対応の方針・状況などについては、リスクマネジメント担当取締役が定期的に取り締役会へ報告しています。

[※]リスクマネジメント委員会は、当社経営会議の一部メンバーおよび主要本部・主要子会社の代表者より構成しており、当社グループのリスクマネジメントに関する最高意思決定機関です。年間で3回開催しています。なお、地球環境問題、気候変動リスクについては、サステナビリティ委員会で対応しています。

リスクマネジメントの取り組み

～リスクマネジメントカルチャーの醸成に向けて～

当社グループのリスクマネジメントは、リスクマネジメント委員会で総括的に管理する全社的なリスクへの対応と、グループ各社が主体的に取り組むリスクへの対応とを体系化することによって、グループ全体としての活動になります。これらの活動をより効果的なものとしていくためには、全従業員のリスクに対する理解と積極的な関与が鍵となります。そこで、2025年度からリスクマネジメントを牽引する部長職以上を対象とした「リスクマネジメント専門研修」をスタートしました。グループ全体でリスク意識を高め、効果的なリスクマネジメントの実現をめざしています。

TOPICS

VOICE



キューピー株式会社
危機管理室
松本 浩樹

リスクマネジメントカルチャーの醸成は当社の最重要課題の一つです。この文化を育むため、定期的な専門研修を実施することにしました。外部専門家を講師に迎え、当社グループの特性に即した内容で行います。2024年度のパイロット研修の経験を活かし、2025年度から部長職以上を対象とした「リスクマネジメント専門研修」を本格的に展開します。この研修を通じてリスクマネジメントを主導する人材育成の継続とグループ全体のリスク意識の向上につなげ、着実にリスクマネジメントの歩みを進めていきます。